

# AOI

Group

経営編

## 上海便り 2007年6月号

【情報提供】 【編集 / 提供】

**(株) 葵ビジネスコンサルタント**

東京本部: 横田税務会計事務所

〒143-0022 東京都大田区東馬込 1-12-12 2F

TEL: 03-3775-1220 FAX: 03-3775-1156

URL: <http://www.aoibc.com> E-mail: [aoi@aoibc.com](mailto:aoi@aoibc.com)

### 【日本語と中国語の「同形異義語」 ③】

#### 八. 我慢……「我慢(ウォーマヌ)」: 私は遅い

日本語の「我慢」は「辛抱する」「耐え忍ぶ」の意味ですが、そもそも「我慢」は仏教用語「七慢」の一つで、「自我を通して他を侮る」の意味で、「高慢」や「傲慢」と同義語であり、あまりよい意味には使われていませんでした。それが時代とともに変化して、我が強い、負けん気が強い、頑張るが転じて「辛抱する」になったと言われています。

日本語の「我慢」は中国語で「忍耐(レヌナイ)」、「忍受(レヌショウ)」、「容忍(ヨンレン)」、「自制(ズージー)」、「原諒(ユアヌリアン)」といいます。更に「将就(ジャンジュウ)」という言葉があり、次のように使われます。

「请将就着住吧」=「我慢して住んでください」

「冷是冷、還可以将就」=「寒いことは寒いですが、まだ何とか我慢出来る」

「将就不下去」=「これ以上我慢しきれない」

さて、中国語の「慢(マヌ)」には(遅い、ゆっくり、遅れさせる)の他に、仏教用語で使う(侮る、驕る、怠ける)などの意味もありますが、現代中国語の「我慢」には(私は遅い)の意味しかありません。

「慢」を使った例をいくつか挙げると次のようなものがあります。

「慢車(マヌチャー)」(鈍行、反対語の急行は「快車」)

「慢鏡頭(マヌ ジントウ)」(スローモーション)

「請慢走(チン マヌゾウ)」(お客を見送る言葉として、お気をつけてください)

「慢慢兒(マヌマー)」(ゆっくりと、急がずに)

また「慢」(侮る、驕る、怠ける)などを使った言葉には「高慢(ガオマヌ)」、

「傲慢(アオマヌ)」、「怠慢(ダイマヌ)」などがあり、日本語と同じ意味です。

中国語の早口言葉に次のような「慢」を使ったものがあります。

媽媽 騎馬, 馬 慢, 媽媽 罵 馬, 馬 罵 媽媽 嗎?

マーマ チーマー、 マーマヌ、 マーマ マー マー、 マー マー マーマ マ?

(母さんが馬に乗る、馬が遅い、母さんが馬を罵る、馬は母さんを罵りますか)

## 九. 一分……「一分(イフェヌ)」: 貨幣の単位や時間の単位

最近「武士の一分」という時代劇映画が上映され、SMAPのメンバー木村拓哉が主演ということもあって好評を博しています。藤澤周平原作の時代劇三部作「たそがれ清兵衛」、「隠し剣 鬼の爪」に続く最終作で、いずれも山田洋次監督の作品です。この映画の題名で「一分(いちぶん)」という読み方とその意味を初めて知った人は少なくないと思います。

その「一分」は(一身の面目)の意味で、「男の一分が立たぬ」のように使います。今では同義語の面目、体面や中国語が語源の面子(めんつ)などが一般的に使われます。

さて、この日本語の「一分(いちぶん)」を中国語では「面子(ミエヌズ)」、「臉面(リエヌミエヌ)」、「体面(ティーミエヌ)」と使います。それらを使った例文は次の通りです。

「愛面子(アイ ミエヌズ)」(面子を重んじる)

「給他留面子(ゲイ ター リュウ ミエヌズ)」(彼の顔をつぶさない)

「看我的臉面(カヌ ウォーダ リエヌミエヌ)」(私の顔に免じて)

日本語の「一分」には(いちぶ)と言う読み方もあります。その場合、全体の十分の一、一割の十分の一、長さ一寸の十分の一、目方一両の十分の一、江戸時代の金貨・銀貨の単位などであり、「一分一厘」、「一分の隙もない」、「一分の狂いもない」、「1割1分の配当」、「1尺2寸1分」などのように使われます。また「分が悪い」や「分がある」などの使い方もあります。

中国語の「一分」の「分(フェヌ)」には、動詞で「分ける」、「分配する」、「区別する」などの意味があり、数詞や名詞では通貨の単位、時間の単位、角度の単位、成績の点数などです。

また中国語の四字熟語に「分」を使った「安分守己(アヌフェヌ ショウジー)」があります。これは「己(おのれ)の本分を守る」という意味です。

## 十. 検討……「検討(ジェヌタオ)」: 反省、自己批判

日本語の「検討」は辞書によると(物事をいろいろの面からよく調べ、それでいいかどうか考えること)とあります。「本件は持ち帰りましてよく検討いたします」とか「真剣に検討しましたが、誠に残念ですがお受けできません」とか、これらは中国側との交渉で日本人がよく使う言葉です。もしこの「検討」を中国語に翻訳するとき、そのまま「検討」を使うと大変な誤解を招くことになります。

何故なら中国語の「検討」には「個人または団体の思想上・活動上の欠点や過ちを調べて、その原因を追究して(反省する)とか(自己批判をする)」との意味があり、自分の非を認めることになるからです。

中国では職場でも学校のクラスでもよく大衆討議が行われ、その結果過ちがあれば、そのグループや個人が「検討書」(反省書)を書かされることになります。「検討」という言葉は中国人にとってそれほど重々しく感じられる言葉です。

従って、日本側が使った「検討」という単語を、通訳の力量不足でそのまま「検討」を使ってしまうと、やはり日本側に問題があって反省しているのだと中国側が誤解すること必定です。

それでは日本語の「検討」に該当する中国語は、「研究(イエヌジュウ)」、「探討(タヌタオ)」、「研討(イエヌタオ)」、「商討(シャンタオ)」などですが、一般的に使われるのは「研究」です。上の例文は「关于这件事我们拿回去研究一下吧」、「虽然进行了认真的研究,但很遗憾我们接受不了」のような訳文になります。

むかし商談の過程で中国側から「我們研究研究吧」と言われると、「研(イエヌ)」は「煙(イエヌ)」(煙草煙 たばこ)、「究(ジュウ)」は「酒(ジュウ)」(酒)と同音(四声は違うが)であることから、冗談半分に交渉事をスムーズに進めるために、「たばこ」と「酒」の差し入れを中国側から催促されていると解釈したものです。

ついでに中国語の「検討」と「検査」の違いについて説明しておきましょう。「検討」は自己批判を伴い、通常誤りが発見されてから行うのに対して、「検査」は欠点や誤りがあるかどうか、またあるとすればどこにあるかをチェックすることで、自分ではなく他人或いは事柄に対して行います。また「検討」の対象は思想、仕事、生活における問題ですが、「検査」はそれ以外にも身体、衛生、機械、物価などの状況および品物の品質や数量など幅広く使われます。

(樺島 康介:記)

樺島 康介 (財)海外職業訓練協会 国際アドバイザー:No.857 OVTA-China メンバー
--